

平成28年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1473601043	事業の開始年月日	平成17年10月1日
		指定年月日	平成17年10月1日
法人名	株式会社メディカルケアシステム		
事業所名	グループホーム ちいさな手横浜いずみ		
所在地	(245-0018) 神奈川県横浜市泉区上飯田1618-1		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	18名
		ユニット数	2 ユニット
自己評価作成日	平成28年12月6日	評価結果 市町村受理日	平成29年4月24日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ホームの建物を囲んだ植栽や花が四季を感じさせる明るい庭があります。小さいスペースながらも畑スペースではトマトや枝豆を栽培しています。ご利用者様もたくさんの花を植えられ思い思いに楽しまれています。また、月々のレクリエーションとして様々な外出・外食が行われリフレッシュされています。その他にピアノ倶楽部・カラオケボランティア・フラダンスボランティアが来て下さり多種多様なレクリエーションを楽しまれています。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-7 湘南リハウスビル4階		
訪問調査日	平成29年1月11日	評価機関 評価決定日	平成29年4月13日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

事業所は、相鉄線「いずみ野駅」よりバスで約10分、バス停「飯田神社前」下車徒歩1分の場所にあります。日当たりの良い広い敷地にある、鉄骨造り2階建て2ユニットの建物です。事業所前は交通量の多い道路ですが、周囲は田や畑に囲まれており、稲や野菜の生育を通して季節の移り変わりを見ることができます。

<優れている点>

企業理念の「優しい介護」を目指しています。職員は利用者の時間が穏やかに流れるよう、それぞれが利用者に優しさをもって支援に努めています。リビングでは毎食後、利用者と職員が会話を楽しんでいます。利用者は、清掃や洗濯物干し、調理などを手伝ったり、気が赴くまま散歩をしたり、パズルや手芸をしたりと思いの時間を楽しんでいます。買い物がしたい利用者に職員が付き添って買い物をしています。施設ではありますが、利用者が自宅で生活をしてきた時と同じような感覚を持てるように支援しています。

<工夫点>

季節ごとの食事を考えたり、2、3ヶ月に1回、好きなものを食べたり、季節の話題に接することができるような外出を行い、好奇心を持って生活ができるように支援しています。職員は事業所周辺の枯葉の清掃をしたり、地域の町内会会議や行事に参加したり、事業所の行事に地域の人を招待したりして、地域に溶けこみ、事業所を地域の住民に知ってもらう努力を行っています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム ちいさな手横浜いずみ
ユニット名	1階

V アウトカム項目	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)
○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)
○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)
○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)
○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)
○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)
○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)
○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)
○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)
○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)
○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)
○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。
○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。
○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	管理者と職員が日々の業務の中で相互協力を行って取り組んでいます。	運営法人の理念を職員に分かりやすくした「優しい介護」を事業所の方針として、入り口に掲示しています。ミーティングでは「思いやりを持って、愛情を持って」利用者に接するように職員間で共有し、職員は自主的に利用者に働き掛けています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	運営推進会議を通して情報をきちんと把握しどんと焼きや節分祭・盆踊りなど町内会の行事に積極的に参加させて頂き交流を図っています。	毎月第2木曜日に行われる地域サロンや団地の祭りに参加しています。町内会会議に参加して町内の情報を得たり、地域の人の意見を聞いたり、事業所の様子を地域の人に知ってもらっています。近くの神社で行われる初詣、どんと焼き、節分祭などに積極的に参加しています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	電話・来所にての相談を随時受けています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ご利用者様へのサービス状況や取り組みについて報告させて頂き、そこでの話し合いや意見をサービス向上に繋げています。	会議では、ボランティアと利用者の交流、中学生の体験学習内容の充実などが出されています。月1回開催されるピアノ演奏やカラオケボランティアの来訪時には、地域の人に声掛けしたり、中学生の体験学習は、利用者と散歩したり百人一首の坊主捲りを行っています。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	区役所の入居者担当のケースワーカーさんとの連絡を密に行っています。また、ケアマネジャー連絡会に参加して情報交換を図っています。	区役所が主催する、介護相談員連絡会や区内グループホーム連絡会に出席し、事業所の状況を伝えたり、時事に即応した問題の意見交換をしたりしています。また区役所が開催する感染症、救急救命などの研修にも参加し、最新の情報を得ています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束のないケアに取り組んでいます。施設前が交通量の多い道路で事故防止のため、ご家族様の許可を得て施錠しています。	施設前の道路の交通量が多いため家族の許可を受け、門扉、フロアの施錠を行っています。利用者から散歩の要望が出た時は、職員と一緒に外に出ています。身体拘束についてのマニュアルを作成し、毎年読み合わせを行っています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待の手引きを用いて職員には注意を払いミーティングで毎回点検を行い虐待の防止に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修に参加し学んだ事をミーティング等で報告して活用し支援に生かしていきます。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には書類の全てを説明して疑問点には納得のいかれるまで説明を行っています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様が来訪した時に意見を伺ってその都度対応しています。家族会も実施しています。日頃からご家族様とのコミュニケーションを密に取り細かいところまで気兼ねなく言って頂ける環境作りにも努力をしています。	利用者家族の来訪時には、挨拶、湯茶出し、見送りを行うなどして、家族から意見などが聞けるような体制を取っています。家族から衣服の取り違いなどの指摘があり、居室、クローゼットなどの整理整頓を頻繁にしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者が日頃から職員の意見を聞くようにして、より良い運営に繋がるように努めています。	毎日の朝礼時や、1～2ヶ月に1回のフロア会議で、職員の意見を聞いています。フロア会議が開られない時は紙上ミーティングを行い、職員に回覧しています。年に1～2回個人面談を行っています。	運営に関する職員の意見はなかなか出てこないのが実情です。職員会議の定期的な開催など、職員が運営に関する意見が出しやすくなるような工夫が期待されます。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	OJTや情報考課表などを用いて随時話し合いの機会を設けています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内外での研修を行っています。訪問歯科医や看護師、実践者、管理者研修等様々な研修を行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	ピアノボランティア・カラオケなどの機会を利用してホーム間交流をしています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス開始時に不安なこと困っている事、要望等に耳を傾けて安心出来るようコミュニケーションを多く取り良い関係を作っていく努力をしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様と密にコミュニケーションを図り、ご家族様の不安、相談、要望に耳を傾け信頼関係作りに努めています。			
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人様・ご家族様が最初に必要としている支援を見極めてご家族様と連携を取りながらサービスの提供を行っています。			
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人様の残存能力を尊重して出来る事は職員と一緒にいながら支え合う関係を築いています。			
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様の面会時や広報誌送付の際の添付文書、パソコンメール等で日々の様子を報告し、ご家族様と職員が一緒にご本人様を支えていく関係を築いています。			
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人様のご身内の方やお友達の来訪を快くお迎えして良い関係を保てるように支援させて頂いています。面会はいつでも可能になっています。	家族の許可を得て、利用者の親族、友人の来訪や電話などの関係継続の支援を行っています。来訪者には湯茶出ししたり、少しの時間、話に加わったりして、来訪者が心地よく過ごせるよう努めています。また、利用者の年賀状の宛名書きなどの支援もしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	家事支援・レクリエーション・散歩等を通して利用者同士が関わり合えるように支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後もご本人様・ご家族様へのフォローが出来る支援を努めています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常生活の中でコミュニケーションが多く取れるよう心掛けています。食事やおやつの時間はご入居者様とゆっくりお話しをしてよい関係作りに努めています。	食後のおしゃべりや、入浴、散歩などの時に利用者の希望を把握できるよう努めています。会話が困難な場合は、行動観察や利用者同士の対応、家族とのやりとりなどを見て、利用者の意向を把握するようにしています。把握された意向はケアプランに入れ、職員で共有しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時にはご本人様・ご家族様にこれまでの生活環境を伺っています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の生活を観察・記録し職員全員が現状の把握を共有出来るよう努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアプラン作成時にドクター・ナースに意見を伺い、サービス担当者会議で話し合っって計画書を作成しています。	家族の訪問時や、3ヶ月に1回の担当者会議に家族が参加した時に把握した家族の希望を、ケアプランに入れるようにしています。訪問医や看護師、職員の意見を基にモニタリングを行い、次の介護計画を作成しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日常の様子・ケアの実践での気づきを個別に記録しカンファレンスを行い情報を共有して介護計画の見直しに活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人様・ご家族様の要望を伺い随時対応させて頂いています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内会(毎月行われている町内の定例会議に参加)・学校行事に参加させて頂いています。近隣の中学校の生徒を受け入れて体験学習も行っています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	2週間に1回訪問診療を実施しています。ドクター・ナース・薬剤師と密に報告・連絡・相談を行っています。	提携医をかかりつけ医としています。整形、皮膚科などの受診は本人や家族の希望に応じています。基本は家族が同行です。受診報告は、看護師から主治医へ、変化や様子を伝えるようにしています。薬剤師には利用者の服薬状態を伝え、薬の形状の変更をすることもあります。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回医療連携体制担当看護師と連携を図り適切な指示を頂いています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先のドクター・ナースに状況を伺い連絡や相談を行っています。入院中は面会対応を行っています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に看取りの方針をご家族様に説明させて頂き同意書を頂いています。終末期には再度確認を行いドクターやナースと連携を図り、重度化・終末期の対応をしています。	看取りの指針や方針は契約時に同意書で確認しています。職員は看取り研修へ参加したり、今までの看取り経験の共有も職員のチーム支援につながっています。看取り時には家族が泊まることもあります。24時間対応の医療機関と連携で支援しています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的に行われている泉区の救急講習に参加をしています。また看護師による勉強会も行っています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	1年に2回避難訓練を行っています。また、町内会の避難訓練に参加しています。	夜間想定訓練も併せ、避難訓練を年2回実施しています。不審者侵入の防犯訓練も実施しています。利用者家族の参加もあります。備蓄はマニュアルに沿って確認しています。町内会の避難訓練では炊き出しを体験しています。	災害に対する訓練は行われていますが、訓練に参加する人数は少数にとどまっています。訓練に参加していない職員への伝達と、次回への調整が期待されます。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員全員、言葉遣いに注意をし命令口調にならないように心掛けています。書類は鍵の掛かる書庫に保管し管理しています。	利用者の気持ちを把握し、さりげない言葉掛けで、プライバシーを損ねないように配慮しています。特に忙しい時の誘導や声掛けには注意を心掛け、気付いたところは職員で確認し合うようにしています。個人情報のファイルは施錠管理しています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定出来るように声掛け・見守りを行い支援しています。ご本人様の思いや希望を話しやすい雰囲気作りに気を配っています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の体調・様子・状況を観察しながら希望に沿った支援をしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節に合った衣類をご入居者様と一緒に選んで着て頂いてます。近所のデパートや衣料品店への買い物レクリエーションも実施しています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理や盛り付け、配膳・片付けをご入居者様と職員が一緒に行っています。季節やイベントに合わせてメニューを変更して食事を楽しんで頂いてます。	2台の流し台が対面に設置され、調理や片付けの作業で手元を見ながら会話ができます。食事の前には口の体操をします。食事は職員も一緒です。メニューは季節やイベントに応じて変更したり、外食では好きなものを注文し、食事が楽しめる支援を行っています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分表を用いて確認しながら状況を把握し確認しながら声掛けをして支援をしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	訪問歯科のドクターから指示を頂きながら食後の口腔ケアを行っています。ご本人様の出来ない部分を職員が援助して清潔保持に努めています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄確認表を用いて、ご利用者様のパターンに合わせて声掛けや誘導を行い自立に向けた支援をしています。	排泄確認表を使用して誘導、声掛けに配慮をし、トイレでの排泄を大切にしています。紙おむつやパットの使い分けはミーティングで本人に合わせた見直し、確認をしています。同性介助を基本にしています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	ご利用者様の体調を考慮しながら水分補給や服薬調整をし適度な運動や体操の参加が出来るよう声掛けをしています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	ご入居者様一人週2～3回の入浴を実施しています。平等性の確保のため順番を決めて入浴して頂いてますが、ご入居者様の体調・希望・要望に柔軟に対応しています。	週に3回の入浴を利用者の体調と希望に柔軟に対応しながら実施しています。入浴を拒む利用者の対応には言葉掛けや相性を配慮して工夫しています。浴室に音楽を流したり、季節の入浴剤で楽しさも支援しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご入居者様一人一人のリズムに合わせて過ごして頂いています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤師による指導を受けながら個人記録に捺印・症状変化の記録を行っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご入居者様一人一人のケアプランに盛り込み体調や希望に合わせて支援させて頂いています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩・買い物の対応をさせて頂いています。外出・外食の行事を取り入れて動物園や植物園、レストラン・回転寿司等気分転換を図っています。	天候を配慮し、近くの公園や神社、川沿いを散歩しています。田畑が広がり四季を楽しむことができます。水族館、寺、花の鑑賞にも出掛け、外食も楽しめます。買い物は近くのスーパーに出掛け、金額や量を配慮しながら支援をしています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物は頻繁に行っています。お会計の際に職員がお金を渡して買い物する楽しさを味わっていただけるように支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご利用者様の要望により対応しています。			
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関や庭には季節の花を植え、リビングにはレクリエーションで作った絵画や作品を飾っています。	玄関、庭には季節の花と四季の変化が見られる樹木が植えられています。食堂兼リビングは広い空間があり、車いすでも自由に移動ができます。鏡餅や水仙の花で季節感を出しています。畳スペースではウッドデッキ側から陽射しが入り、日光浴を楽しみ、寛ぐことができます。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	畳室やベランダのベンチを利用して頂けるようにしています。			
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人様が使い慣れた家具や仏壇等をご持参して頂き、ご入居前の環境に近いお部屋作りをしています。	居室には利用者の馴染みの品、趣味や希望を取り入れた装飾品、本、タンス、テレビ、昔の写真などが置かれています。思い思いの部屋づくりで居心地の良い環境を工夫しています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手摺りの設置をしています。各居室・トイレ・風呂場には解り易いように名札を掲示しています。			

事業所名	グループホーム ちいさな手横浜いずみ
ユニット名	2階

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	管理者と職員が日常業務の中で報告・連絡・相談を密に行って取り組んでいます。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	運営推進会議に参加して情報をきちんと把握し町内会の行事に積極的に参加させて頂き交流を図っています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方に認知症理解をして頂けるよう町内会議にも参加しパンフレットを配って頂いています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ホームでの活動内容を報告させて頂き、委員の方からの意見を聞かせて頂きサービス向上に繋げています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	ケアマネージャー連絡会に参加して情報交換を図っています。区役所へは随時相談・報告をさせて頂いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束のないケアに取り組んでいます。施設前が交通量の多い道路で事故防止のため、ご家族様の許可を得て施錠しています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待の手引きを用いて職員には注意を払いミーティングで毎回点検を行い虐待の防止に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修に参加し学んだ事をミーティング等で報告して活用し支援に生かしていきます。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には書類の全てを説明して疑問点には納得のいかれるまで説明を行っています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関にご家族様意見箱を設置しています。ご家族様が来訪された時に直接意見を聞くことが多く、随時対応をさせて頂いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティングや個別のカンファレンスで話し合い意見交換を行っています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	○J Tや情報考課表などを用いて随時話し合いの機会を設けています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内外での研修を行っています。訪問歯科医や看護師、実践者、管理者研修等様々な研修を行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	ピアノボランティア・カラオケボランティアなどの機会を利用してホーム間交流をしています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス開始時に不安なこと困っている事、要望等に耳を傾けて安心出来るよう食事やおやつの時間に多くのコミュニケーションを取り良い関係を作っていく努力をしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご本人様ときちんと向き合いながら、ご家族様とコミュニケーションを図り、ご家族様の不安、相談、要望に耳を傾け信頼関係作りに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ケアマネージャーのアドバイスを受けて、ご本人様・ご家族様が最初に必要としている支援を見極めてご家族様と連携を取りながらサービスの提供を行っています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人様の残存能力を尊重して出来る事は職員と一緒にいき、寄り添いながら支え合う関係を築いています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様の面会時や広報誌送付の際の添付文書で日々の様子を報告し、ご家族様と職員と一緒にご本人様を支えていく関係を築いています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人様のご身内の方やお友達の来訪を快くお迎えして、面会・電話・手紙などで入居後も関係を築いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	家事支援・レクリエーション・散歩等を通して利用者同士が関わり合えるように支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後もご本人様・ご家族様へのフォローが出来る支援を努めています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常生活の中でコミュニケーションが多く取れるよう心掛けています。話を聞けない方はその人の要望に出来る限り近づきケアプランへの反映・見直しをしています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時にはご本人様・ご家族様にこれまでの生活環境を伺っています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の生活を観察・記録し問題点が生じたらその都度職員で話し合いケアマネージャーに相談し対応しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアプラン作成時にドクター・ナースに意見を伺い、サービス担当者会議で話し合っって計画書を作成しています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日常の様子・ケアの実践での気づきを個別に記録しカンファレンスを行い情報を共有して介護計画の見直しに活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人様・ご家族様の要望を伺い随時対応させて頂いています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内会(毎月行われている町内の定例会議に参加)・学校行事に参加させて頂いています。近隣の中学校の生徒を受け入れて体験学習も行っています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	週1回訪問診療を実施しています。ドクター・ナース・薬剤師と密に報告・連絡・相談を行っています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回医療連携体制担当看護師と連携を図り適切な指示を頂いています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先のドクター・ナースに状況を伺い連絡や相談を行っています。入院中は面会対応を行っています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に看取りの方針をご家族様に説明させて頂き同意書を頂いています。終末期には再度確認を行いドクターやナースと連携を図り、重度化・終末期の対応をしています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的に行われている横浜市の救急講習に参加をしています。また看護師による勉強会も行っています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	1年に2回避難訓練を行っています。また、町内会の避難訓練に参加しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員全員、言葉遣いに注意をし命令口調にならないように心掛けています。書類は鍵の掛かる書庫に保管し管理しています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定出来るように声掛け・見守りを行い支援しています。ご本人様の思いや希望を話しやすい雰囲気作りに気を配っています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の体調・様子・状況を観察しながら希望に沿った支援をしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節に合った衣類をご入居者様と一緒に選んで着て頂いてます。2ヶ月に1度訪問理容を依頼して整容の支援を行っています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理や盛り付け、配膳・片付けをご入居者様と職員が一緒に行っています。季節やイベントに合わせてメニューを変更して食事を楽しんで頂いてます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分表を用いて確認しながら状況を把握し確認しながら声掛けをして支援をしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	訪問歯科のドクターから指示を頂きながら食後の口腔ケアを行っています。ご本人様の出来ない部分を職員が援助して清潔保持に努めています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄確認表を用いて、ご利用者様のパターンに合わせて声掛けや誘導を行い自立に向けた支援をしています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	ご利用者様の体調を考慮しながら水分補給や服薬調整をし適度な運動や体操の参加が出来るよう声掛けをしています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	ご入居者様一人週3回の入浴を実施しています。平等性の確保のため順番を決めて入浴して頂いてますが、ご入居者様の体調・希望・要望に柔軟に対応しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご入居者様一人一人のリズムに合わせて過ごして頂いてます。昼夜逆転しないように気配りしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤師による指導を受けながら個人記録に捺印・症状変化の記録を行っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご入居者様一人一人のケアプランに盛り込み体調や希望に合わせて支援させて頂いてます。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩・買い物の対応をさせて頂いてます。外出・外食の行事を取り入れて動物園や植物園、カフェ等気分転換を図っています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物は頻繁に行っています。お会計の際に職員がお金を渡して買い物する楽しさを味わっていただけるように支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご利用者様の要望により対応しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関や庭には季節の花を植え、リビングにはレクリエーションで作った絵画やカレンダーを飾っています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファや畳室、ベランダのベンチを利用して頂けるようにしています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人様を使い慣れた家具や馴染みの物をご持参して頂き、ご入居前の環境に近いお部屋作りをしています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手摺りの設置をしています。各居室・トイレ・風呂場には解り易いように名札を掲示しています。		

平成28年度

目標達成計画

事業所名 グループホームちいさな手 横浜いずみ

作成日： 平成 29年 4月 17日

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害に対する訓練は行われていますが、訓練に参加する人数は少数にとどまっています。訓練に参加していない職員への伝達と、次回への調整が期待される。	ミーティングや勉強会を通して多くの職員に参加を促していく。	管理者は運営推進会議・中村町内会定例会を通して積極的に災害訓練行事を知らせていく。管理者でなく職員が中心となって災害訓練に取り組んで頂いて参加数を上げる。	6ヶ月
2	11	運営に関する職員の意見はなかなか出てこないのが実情です。職員会議の定期的な開催など職員が運営に関する意見が出しやすくなるような工夫が期待されます。	受動的なミーティング・勉強会から主体的なミーティング・勉強会を目指す	管理者主導でなく、介護スタッフが中心となってミーティング・勉強会を行っていくシステムを築いていく。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月